

平成 25 年 9 月 2 日

各 位

西日本シティ銀行

～ 全国初！農林漁業 6 次産業化ファンド出資第 1 号 ～
『NCB 九州 6 次化応援ファンド』『沖縄栽培水産株式会社』への出資決定

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、当行と株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（本社：東京都 代表取締役 大多和 巖、以下「機構」）が出資を行い、当行連結子会社である株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 古賀 恭介、以下「R&C」）が運営する「NCB 九州 6 次化応援投資事業有限責任組合」（略称：「NCB 6 次化ファンド」）を通じ、沖縄栽培水産株式会社（本社：沖縄県 代表取締役 尾崎 健一、以下「沖縄栽培水産」）に対して、4,000 万円の出資を行うことを決定いたしました。

本件は、NCB 6 次化ファンドの第 1 号投資であり、全国の 6 次産業化ファンドでも第 1 号の投資となります。

沖縄栽培水産は、車えび養殖・車えび加工品製造を行う株式会社 拓水（本社：福岡市 代表取締役 尾崎 孝義、以下「拓水」）と、車えび・魚介類養殖用飼料、資材の販売を行う株式会社 オザキ（本社：福岡市 代表取締役 尾崎 健一、以下「オザキ」）が共同出資する企業です。

今回、気候が温暖な沖縄県与那国島の地の利を活かして、高品質な車えびの周年生産を実現、さらには、最新の技術を用いて車えびを冷凍加工し、販売まで行います。将来的には沖縄のみならず、全国の生産者と連携した車えびの新しい流通形態を構築していく予定です。

【出資決定のポイント】

高品質な車えびの養殖技術を導入し、年間を通じて生産が可能な沖縄県与那国島において周年販売を実現すること。

併せて、最新の冷凍技術により車えびの冷凍加工を行い、高品質な車えびの安定供給を実現すること。

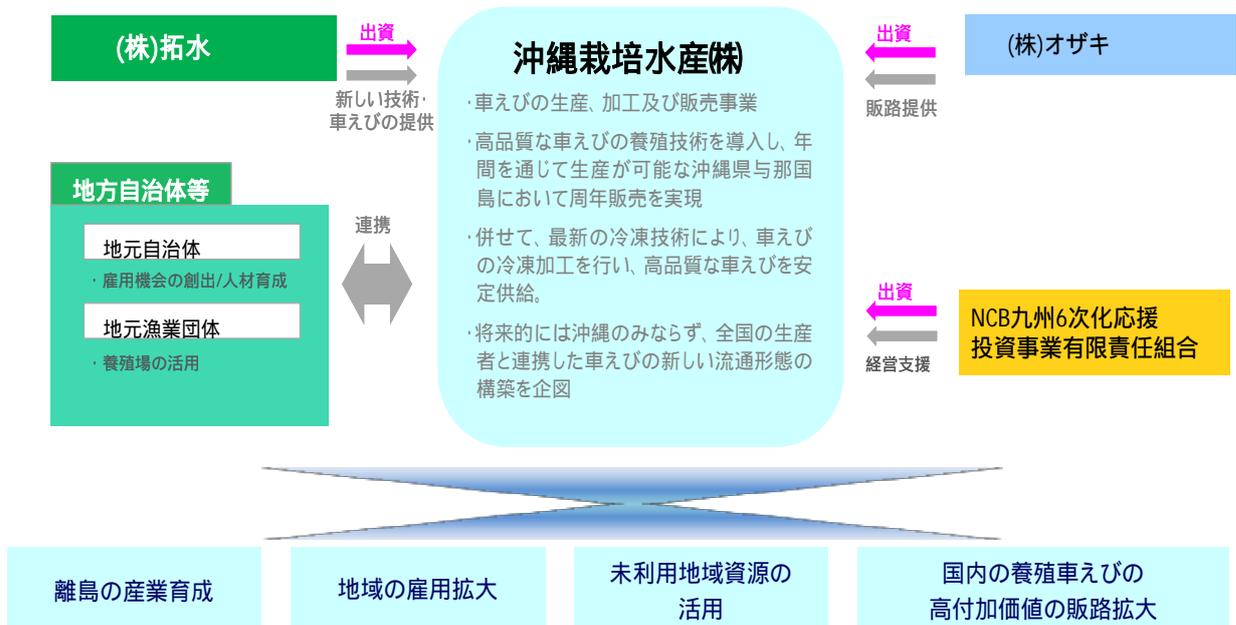
高品質かつ安定供給を強みとした新たな販売チャネルを拡大すること。

将来的には、沖縄のみならず全国の生産者と連携した車えびの新しい流通形態の構築、種苗センター機能発揮や海外展開を図る等、今後の成長戦略が明確であること。

【投資先企業概要】

会社名	沖縄栽培水産株式会社
所在地 (支店登記)	沖縄県八重山郡与那国町字与那国 3536 番地 (福岡県福岡市博多区冷泉町 2 - 9 - 1004)
代表者	代表取締役 尾崎 健一
事業内容	水産物の養殖、加工販売
資本金	20 百万円

【投資スキーム図】



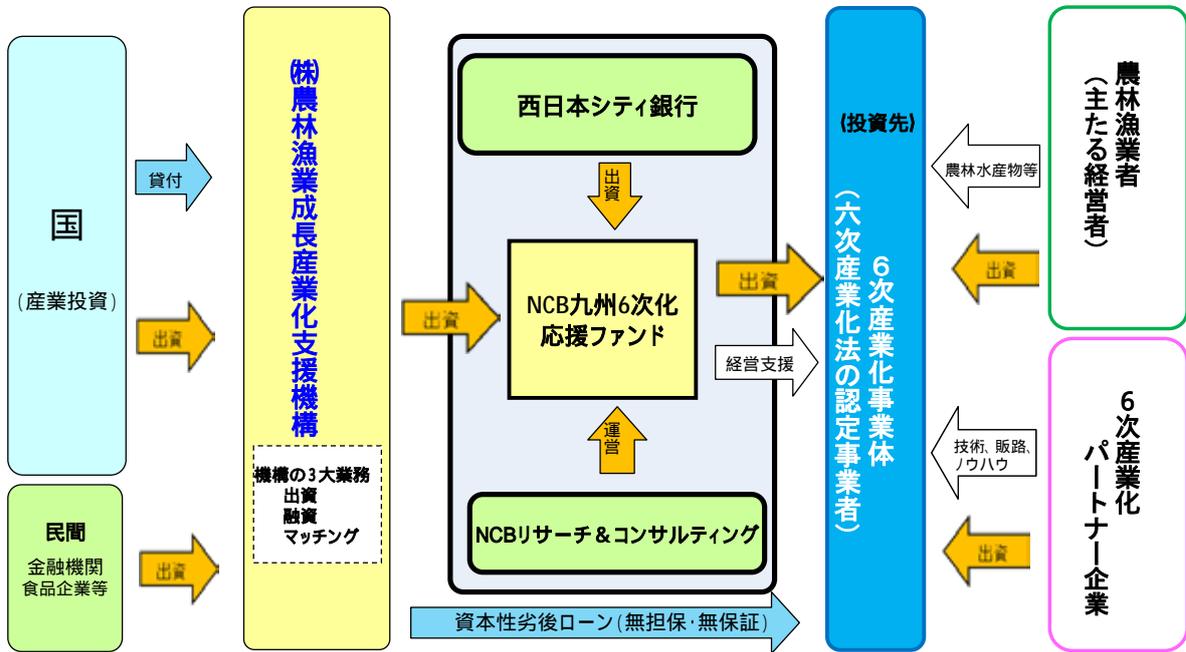
「NCB 6次化ファンド」は、当行と機構の共同出資による、九州における1次産業事業者と2次・3次産業事業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンドであり、当行と機構を有限責任組合員とし、R&Cが無限責任組合員となってファンドの運営・管理を行います。ファンド総額は20億円です。当行は、地域金融機関としてこのファンドを通じて地域経済の発展に貢献するとともに、引き続き農林漁業分野への取り組みを積極的に行ってまいります。

以上

本件に関するお問合せ先
 法人ソリューション部 広川・渡辺 TEL092-476-2741

参考 『NCB九州6次化応援ファンド』の概要

【ファンドスキーム図】



- ・(株)農林漁業成長産業化支援機構と当行が半々の出資でサブファンドを設立。
- ・九州6次化ファンドから農林漁業者とパートナー企業との合弁会社に対して出資を行う。

【ファンドの概要】

ファンド総額	20 億円
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
無限責任組員	NCBリサーチ&コンサルティング http://www.johoza.co.jp/
有限責任組員	農林漁業成長産業化支援機構 http://www.a-five-j.co.jp 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp
投資対象	九州圏内(九州各県・山口県等)に主な拠点がある農林漁業事業者と商工業者との合弁企業体で、投資対象事業が生産から消費者までのバリューチェーンを創出する農林水産業の成長産業化にチャレンジする企業
主な投資形態	株式(普通株・優先株) 新株予約権付社債等
組合の存続期間	15 年